

学校現場での消費者教育を推進するため

消費者教育推進講師

を派遣します！！

～消費者教育に関する取組の先駆者や専門家を講師として学校等に派遣します～

学校教育においては、発達段階に応じた消費者教育が求められています

- 「普段の授業の中でどのように取り組んでいったらいいか」
- 「活用できる教材にはどんなものがあるのか」
- 「そもそも消費者教育って何？」

このような消費者教育の必要性や授業の進め方などに対する教員の疑問・質問にお答えし、効果的な教員への消費者教育の研修を行います

派遣事例



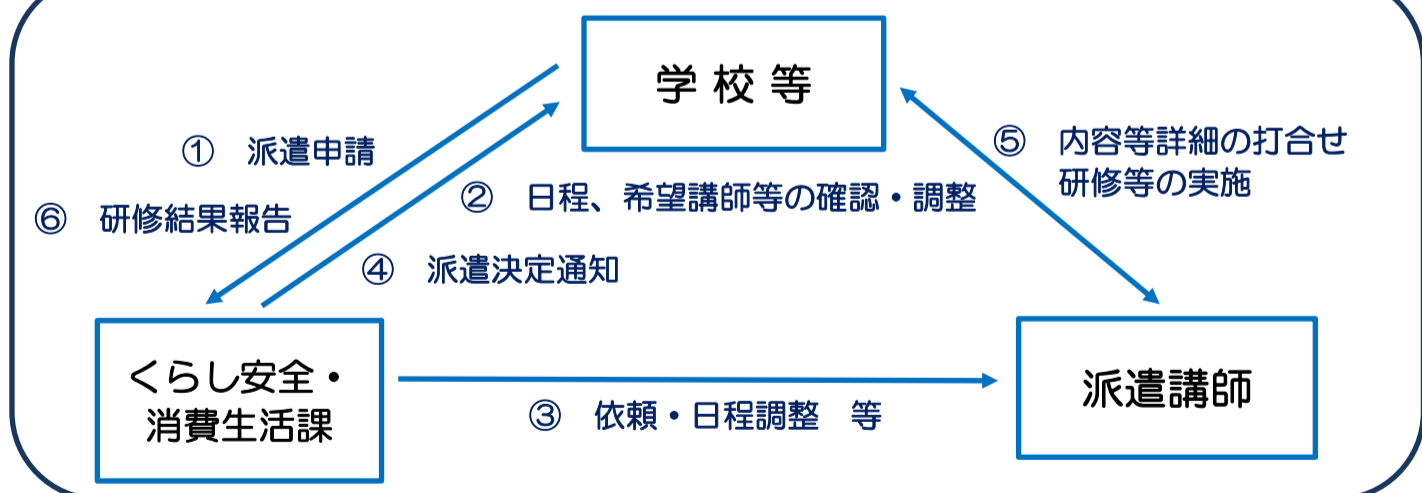
長野県消費者被害防止啓発キャラクター
もシカっち

学校現場での模擬授業の実践
学校での教員研修会等の講師
教員の他に児童・生徒や保護者を含めた講演会等の講師
地域単位での教員を対象とした研修会等の講師 など

※ 研修テーマ・内容は、消費者教育に関することなら学校等からの希望に応じて、出来る限り対応しますので、お気軽にお問い合わせください！

派遣無料！

派遣の流れ・手続き



お問い合わせ
詳細はこちら

長野県 県民文化部 暮らし安全・消費生活課 相談啓発係
TEL 026-223-6770 FAX 026-223-6771
電子メール kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp

長野県消費生活情報HP <https://www.nagano-shohi.net/>

＜参考＞消費者教育体系イメージマップ～発達段階に応じた消費者教育の内容～

各期の特徴	成人期			特に関連者	Ver.1.0	
	特に関連者	成人一般	特に関連者			
重点領域	幼年期	小学生期	中学生期	高校生期	成人期	
	様々な気づきの体験を通じて、家族や身の回りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期	生活において自立を進め、消費生活のスタイルや価値観を確立し自らの行動を始める時期	精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人々と協働し取り組む時期
	消費がもつ影響力の理解	消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう	消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響に配慮して行動しよう	消費者の行動が環境、経済、社会に与える影響に配慮することの大切さを伝えよう
	持続可能な消費の実践	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方を工夫しよう	消費生活が環境に与えた影響を考えた生活を実践しよう	持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを実践しよう	持続可能な社会に役立つライフスタイルについて伝えよう
消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成について考えよう	消費者問題その他の社会課題の解決や、公正な社会の形成に向けた行動の場を広げよう	支え合いながら協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくらう	
商品安全の理解と危険を回避する能力	くらしの中の危険や、もの安全な使い方に気づこう	危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手段を知り、使おう	安全で危険の少ないくらしと消費社会をつくらう	安全で危険の少ないくらしの大切さを伝えよう	
トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用する習慣を付けよう	支え合いながらトラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう	
選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の選び方、買い方を考え、適切な購入しよう	商品と契約のルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう	契約の内容・ルールを理解し、よく確認して契約する習慣を付けよう	契約トラブルに遭遇しない暮らしの知恵を伝えよう	
生活を設計・管理する能力	欲しいものがあったときは、よく考え、時には我慢することを覚えよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	消費に関する生活管理の技能を活用しよう	生涯を見通した計画的な管理や計画を実践しよう	生活環境の変化に対応し支え合いながら生活を管理しよう	
情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の方を知ろう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう	情報と情報技術を適切に利用する習慣を身に付けよう	支え合いながら情報と情報技術を適切に利用しよう	
情報とメディア	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを守ろう	著作権や発信した情報への責任を知ろう	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう	支え合いながら、トラブルが少なく、情報モラルが守られる情報社会をつくらう	
消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」どうしてかを考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知ろう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、意思決定の大切さを知ろう	消費生活情報を主体的に吟味する習慣を付けよう	支え合いながら消費生活情報を上手に取り入れ、支え合いながら消費生活情報を利用しよう	

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。